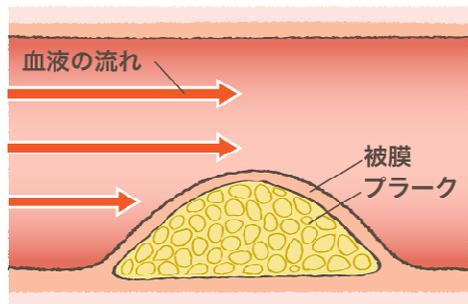




心臓病による死亡原因の約半数は心筋梗塞と狭心症です。心筋梗塞は多くの場合、その前段階である狭心症の段階で治療すれば、防ぐことが可能です。

## <狭心症と心筋梗塞になる原因>

心臓は、血液を全身に送るポンプの働きをしています。心臓の筋肉自身も、酸素や栄養を必要とします。その血液を供給するのが、「冠動脈」と呼ばれる血管です。この冠動脈で、血管壁が硬くなる「動脈硬化」が進んで、血管の内側が狭くなるのが「狭心症」であり、完全に詰まるのが「心筋梗塞」です。



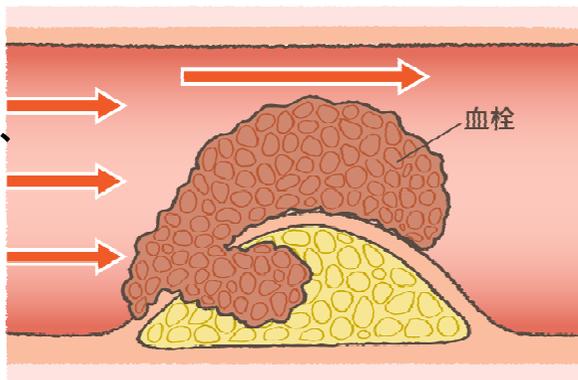
動脈硬化や血栓などで内腔が狭くなると **狭心症**

血栓で完全に内腔が詰まると **心筋梗塞**

動脈硬化とは、血液中の LDL コレステロール(悪玉コレステロール)などが血管の壁にたまり、いくつかの過程を経て、プラークというこぶを作ることです。

## <狭心症の症状>

- ① 胸が締め付けられる痛みがあり、数分～15分程度で治まる。
- ② 冷や汗が突然出る。
- ③ 安静または薬の使用で発作が改善する。

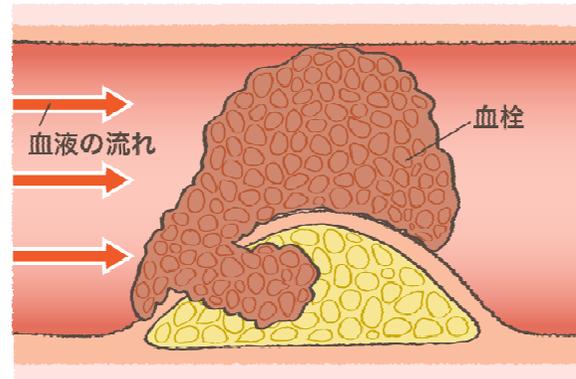


## <狭心症悪化のサイン>

「発作が運動時だけでなく、安静時にも起こるようになった」「発作の頻度が多くなったり、発作時間が長くなった」「発作を抑える薬が効かなくなった」などの変化があれば、症状が悪化している可能性があります。心筋梗塞に移行する危険性が高いので、医療機関に受診して下さい。

## <心筋梗塞の症状>

- ① 胸が締め付けられる痛みが続く。
- ② 冷や汗がひどくなり、意識を失うこともある。
- ③ 30分以上の発作が続く。
- ④ 安静または薬の使用でも発作が改善しない。



## <検査と診断>

狭心性や心筋梗塞が疑われたら「問診」で症状を詳しく聞きます。さらに「心電図」で心臓の電気的な活動の状態を調べたり、「心エコー」で心臓の動きを見たり、「血液検査」で心筋の壊死の有無を調べます。病状をより詳細に確認するために「心臓 CT」や「カテーテル検査」を行うこともあります。

4月から循環器の大野先生が常勤医となります。「心臓が悪いかしら」と不安をお持ちの方はお気軽にお声がけて下さい。